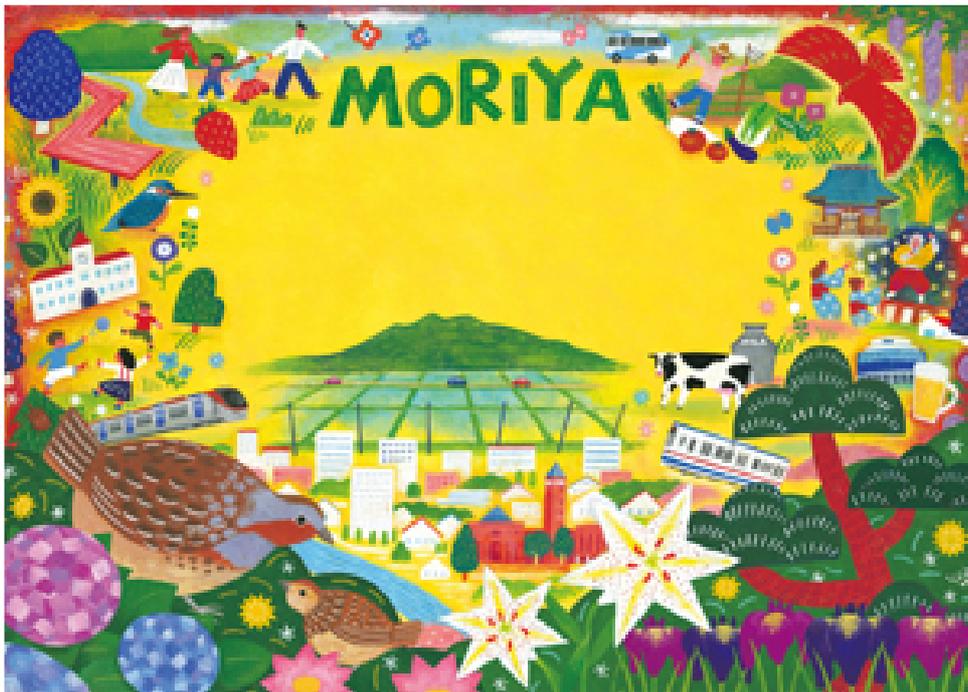


令和3年度
守谷市社会教育委員会議 研修会

研 修

もりやコミュニティ・スクールボランティア
バンクの設置及び運営について



令和3年6月8日(火)大会議室
守谷市教育委員会 生涯学習課

令和3年度施政方針から

3点目 「**こころ豊かに暮らせるまち**」への取組

「**わくわく子育て王国もりや**」の実現に向けた
学校教育環境充実のために

「**第3次学校教育改革プラン**」に取組



4点目

各学校が地域との連携を深めるとともに、守谷市の豊富な地域人材を活用
するための「**(仮称)地域人材ボランティアバンク**」の設立



もりやコミュニティ・スクールボランティアバンク

**「地域の人材との関わり」の中で学び育った子は、
地域を「ふるさと」として決して忘れることはない。**

教育は、地域社会を動かして行くエンジンの役割を担っており、教育により、子供たち一人一人の潜在能力を最大限に引き出し全ての子供たちが幸福に、より良く生きられるようにすることが求められている。

学校は、全ての子供が自立して社会で生き、個人として豊かな人生を送ることができるよう、その基礎となる力を培う場であり、子供たちの豊かな学びと成長を保証する場としての役割のみならず、地域コミュニティの拠点として、地域の将来の担い手となる人材を育成する役割を果たしていかなければなりません。

一方、**地域は**実生活・実社会について体験的・探究的に学習できる場として子供たちの学びを豊かにしていく役割を果たす必要がある。

社会総掛かりでの教育（学校・家庭・地域・行政が一体、四輪駆動）の実現が不可欠である。

そして、これからの**学校と地域の連携・協働の姿**として、次の3つの姿を目指すことが大切であると考えます。

- ① 地域の人々との目標やビジョンを共有し、
地域と一体となって子供たちを育む「**地域とともにある学校**」への転換
- ② 地域のような様々な機関や団体等がネットワーク化を図りながら、
地域全体で学びを展開していく「**子供も大人も育ち合う教育体制**」の構築
- ③ 学校を核とした協働の取組を通じて、地域の将来を担う人材を育成し、
自立した地域社会の基盤の構築を図る「**学校を核とした地域づくり**」の推進
この姿を具現化していくためには、学校と地域の双方で連携・協働を推進するための組織的・継続的な仕組みの構築が不可欠であると考えます。

そのため、守谷型保幼小中高一貫教育の中に「**もりやコミュニティ・スクールボランティアバンク**」を活用し、**将来必ず学び育った守谷市・各地区に戻ってくる子の育成に努めていく必要がある。**学校内での学びにも地域での学びの場でも「地域のひととの関わり」の中での学び育った子は、地域を「ふるさと」として忘れることはない。世界で輝く人となってもいつか必ず戻り、「ふるさと」のために次世代の守谷市・各地区のために活躍してくれるものと確信する。

★守谷市の重点政策である「**地域主導・住民主導のまちづくり**」と

「**わくわく子育て王国もりや**」, 「**いきいきシニア王国もりや**」,

「**スマートデジタル王国もりや**」, プラス「**王国もりや未来創り**」,

4プラス1のもりやビジョンが一体的に実現する取組へ★

地域教育力の活用

地域との連携を推進 まちづくり協議会との連携

守谷市教育委員会 生涯学習課

教育→地域社会を動かしていくエンジンの役割

学校・家庭・地域・行政が一体、四輪駆動
(仮称)地域人材ボランティアバンクの設立・活用
～「地域の人との関わり」の中で学び育った子は、
地域を「ふるさと」として決して忘れることはない。～

守谷市の重点政策(施政方針)である「わくわく子育て王国もりや」、「いきいきシニア王国もりや」、「地域主導・住民主導のまちづくり」、「スマートデジタル王国もりや」、プラス「王国もりや」未来創りが一体的に実現する取組へ

1 はじめに

教育

地域社会を動かして行くエンジン

子供たち一人一人の潜在能力を最大限に引き出す
→幸福に、より良く生きられるようにすること

学校 ・基礎力を培う場・豊かな学びと成長を保証する場
・地域の将来の担い手となる人材を育成する役割

地域 ・実生活、社会を体験的・探究的に学習できる場
・子供たちの学びを豊かにしていく役割

社会総掛かりでの教育の実現が不可欠

「開かれた学校」から「地域とともにある学校」へ

2 これからの学校と地域の連携・協働の姿

(1) 「地域とともにある学校」への転換

→地域の人々との**目標やビジョンを共有**し、**地域と一体**となって子供たちを育む。

(2) 「子供も大人も育ち合う教育体制」の構築

→地域の様々な機関や団体等がネットワーク化を図りながら、**地域全体で学びを展開**する。

(3) 「学校を核とした地域づくり」の推進

→学校を核とした協働の取組を通じて、**地域の将来を担う人材を育成**し、**自立した地域社会の基盤の構築**を図る。

3 3つの姿を具現化していくために

→学校と地域の双方で連携・協働を推進するための**組織的・継続的な仕組みの構築が不可欠**である

4 守谷型保幼小中高一貫教育の中に

→(仮称)**地域人材ボランティアバンクの設立・活用**

将来必ず守谷市内各地区に戻ってくる子の育成

学校内での学びにも地域での学びの場でも
「**地域の人との関わり**」の中で学び育った子

地域→「**ふるさと**」として忘れることはない

「子育て王国もりや」実現に向けた学校教育改革プラン

守谷市「H30施政方針」から

守谷市の学校教育の現状

- 全国から注目される 保幼小中高一貫教育
- 県内トップレベルの 高い学力
- 極めて恵まれた 教育環境整備

学校教育における喫緊の課題

- ① いじめ問題
- ② 児童生徒の安全・安心の確保
- ③ 新学習指導要領の実施 (授業時数増・主体的・対話的で深い学び)
- ④ 教職員の働き方改革

プラン1 守谷型カリキュラム・マネジメント 課題②③④対策
【平成31年度～】

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-----------------------------|---|---|---|---|
| 現状 | | | | |
| 小学3～6年 週1時間増 毎日6時間授業 | | | | |
| 改善後 | | | | |
| 学びの質を向上させる 週3日の 5時間授業 | | | | |

期待される効果

- ◎ 児童生徒及び教師の双方における日常の負担の平準化
- 児童生徒の学びの質の向上 (毎日6コマ授業の負担回避)
- 児童生徒の帰宅時刻の遅れの回避による安全・安心の確保
- 教職員の働き方改革による教材研究の充実・児童生徒と向き合う時間の確保

プラン プラス

- 部活動指導員の配置
- 若手教員研修指導員の配置
- デジタル地図ソフトの導入
- タイムカードの導入
- ◆ ALTの全校配置
- ◆ 学習支援ティーチャーの配置
- ◆ ICT教育環境の充実
 - ・電子黒板の全教室への設置
 - ・タブレットPC2000台の導入 (3人/台)
- ◎ 校務支援システムの導入
- ◎ 学校閉庁日 (8/13～16.12/27)
- ◎ 学校留守番電話

プラン2 市・学校いじめ対策本部の設置 課題①②対策
【平成30年度～】

※ 「守谷市及び小中学校いじめ対策本部設置要綱」の策定
※ 別紙イメージ図「守谷市 いじめ防止対策組織」

プラン3 プログラミング教育の先取り 課題③④対策
- 守谷型EdTech(エドテック)の推進-
【平成31年度～】

※ EdTechは Education(教育)とTechnology(科学技術)からの造語
※ 「守谷スマートスクール・プログラム」(仮称)の詳細案を作成中

プラン4 中央図書館との連携による 課題③④対策
- 学校図書館の充実
【平成31年度～】

市内小中学校 学校図書館

中央図書館

期待される効果

- ◎ 主体的・対話的で深い学びを支える学校図書館への転換
- 読書センター・学習センター・情報センターとしての機能の充実 (学校経営方針への位置付け)
- 学校図書館を活用した授業の充実 (探究型学習への対応)
- 研修の日常化による司書教諭・図書連絡員の専門性向上

(H31.3.1)

「子育て王国もりや」実現に向けた学校教育改革プラン 第2次

(※) 既設事業費を含む金額

守谷市の学校教育の現状

- 全国から注目される 保幼小中高一貫教育
- 県内トップレベルの 高い学力
- 極めて恵まれた 教育環境整備

学校教育における喫緊の課題

- ① いじめ問題
- ② 児童生徒の安全・安心の確保
- ③ 新学習指導要領の実施 (授業時数増・主体的・対話的で深い学び)
- ④ 教職員の働き方改革

プラン1 小学校教科担任制による授業充実 課題①③④対策
【令和2年度～】 8,810万円

子供たちのために

- 専門性を有する教員の指導で主体的・対話的で深い学びを実現
- 高学年からの教科担任制で中学校の授業へスムーズに移行

学校・教師のために

- 教科担任制で生み出される時間の教材研究で授業の質が向上
- 専門性を有する教員を市費で雇用
理科7名・音楽4名・図工4名の15名で全校をサポート

プラン プラス (※3)

- ◆ ALTの全校配置・複数配置
- ◆ 学習支援ティーチャーの配置 33名
- ◆ ICT教育環境の充実
- ◆ 電子黒板の全教室への設置 278台
- ◆ タブレットPCを3人に1台導入 1988台
- ◆ 若手教員研修指導員の配置 2名
- ◆ デジタル地図ソフトの導入

プラン2 タブレット・フューチャープラン 課題③④対策
【令和2年度～】 小1億6785万円・中7823万円(※)

子供たちのために

- 「守谷型EdTech(エドテック)」(※1)で身に付けた資質・能力によって一人1台のタブレット学習へスムーズに移行
- プログラミング教育・遠隔教育・オンライン学習のさらなる充実・発展

学校・教師のために

- 一人1台のタブレット学習を見据えた計画的な環境整備
- 教員研修の充実
- 学習資料や教材のデジタル化による業務の効率化

プラン4 チャレンジ検定プラン 課題③対策
【令和2年度～】 333万円

子供たち・保護者のために

- 英検の資格取得経費を補助

(※1) 「EdTech」は Education(教育)とTechnology(科学技術)からの造語
(※2) 「(A)アクティブ・(E)イングリッシュ・(L)レッスン」
= AEL(アール・ALT)にいつでも「会える」!

プラン プラス (※3)

- ◆ 部活動指導員の配置 12名
- ◆ いじめ対策指導員の配置 担当員12名
- ◆ カード学習システムの導入
- ◆ 校務支援システムの導入
- ◆ 学校閉庁日
- ◆ 学校留守番電話

(※3) 改革プランをサポートする整備済の教育環境 (R2.3.3現在)

Renovated Education Plan Moriya City 2021

「わくわく子育て王国もりや」学校教育改革プランの概要

新しい学校教育のモデルの創造を目指す学校教育改革プラン

学校教育改革プランとは
もりやの「新しい学校教育のモデルの創造」を目指したプランです。
守谷市独自の「もりやビジョン」と連動しており、その取り組みが国や県の施策を先取りしています。
数々の成果が明らかであり、国・県から賞・評価を受けています。

第1次学校教育改革プラン【平成31年度～】

- 守谷型カリキュラム・マネジメント
- 学校いじめ対策本部の設置
- 学びの場としてのICT活用
- 中核職員養成と連携による学校教育委員の充実

守谷型カリキュラム・マネジメントが、
文部科学省・教育委員会からモデル事例として高く評価されました。

第2次学校教育改革プラン【令和2年度～】

- 小学校教育科制による授業充実
- タラント・フューチャープラン
- テラリング授業プラン

市独自の専科教員を配置して国の施策を先取りしました。学びの充実と働き方改革両面で大きな成果となりました。

第3次学校教育改革プラン【令和3年度～】

- GIGAスクール・スマートもりや
- もりやハートウォーミングプラン
- もりやニューノーマルプラン

コロナ禍の課題を克服し「コロナ時代の新しい日常」にニューノーマルを見通した学校での新しい生活様式のプランです。

わくわく子育て王国もりや

Open-Hearted Moriya Kids,
Open-Minded Moriya Families.

時代をかえる。
次代をつくる。



学校教育改革プランの系統と市施策との関連

もりやの教育のストーリー、教育改革プラン。

| プランのながれ | 第1次プラン | 第2次プラン | 第3次プラン | 市独自の施策 |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| ① 小学校教育科制による授業充実 |
| ② タラント・フューチャープラン |
| ③ テラリング授業プラン |
| ④ ICT活用による学びの場としてのICT活用 |
| ⑤ 守谷型カリキュラム・マネジメント |
| ⑥ 中核職員養成と連携による学校教育委員の充実 |
| ⑦ 国・県から賞・評価を受けている |
| ⑧ 国・県から賞・評価を受けている |
| ⑨ 国・県から賞・評価を受けている |



守谷市教育委員会
〒311-0111 福島県守谷市東山町1番地1 電話 0237-66-1111 (FAX) <http://www.city.moriya.fukushima.jp/>

Renovated Education Plan Moriya City 2021

「わくわく子育て王国もりや」第3次学校教育改革プラン

Renovated Education Plan Moriya City 2021

わくわく子育て王国もりや

守谷市学校教育改革プランの実施

- 第一歩 基礎教育改革プラン【2019～】
- ① 守谷型カリキュラム・マネジメント
- ② 守・中核職員養成と連携による学校教育委員の充実
- ③ フォアラング教育の充実
- ④ 中核職員育成の推進

第二歩 中核職員育成と連携による学校教育委員の充実

- ① 小学校教育科制による授業充実
- ② タラント・フューチャープラン
- ③ スクール・スタッフ等職員
- ④ テラリング授業プラン

守谷市の学校教育の現状

- 全国で注目される福祉・子育て先進地
- 全国で注目される子育て先進地
- 国・県から賞・評価を受けている
- 国・県から賞・評価を受けている

学校教育における弊害の課題

- ① ICT活用による学びの場としてのICT活用
- ② 小学校教育科制による授業充実
- ③ 守谷型カリキュラム・マネジメント
- ④ 中核職員養成と連携による学校教育委員の充実

子供の未来を創造する
「わくわく子育て王国もりや」

Plan 1 守谷型GIGAスクール構想【令和3年度～】 課題 ①③④⑤対応【34,582万円】 ※一部令和2年度から実施

もりやの未来を育むために、ICTのさらなる環境整備で学習活動や学校生活の一層の充実がはかられます。

- 学習でのICTのさらなる活用、授業改善による学力向上
- オンラインを活用した学校と家庭のデジタル連携
- 児童生徒と向き合う時間を確保するための支援体制

- (1) 一人1台のタブレットによる、個別化した学びの充実をオンライン・デジタル教材の活用
- (2) 各種教材充実、学校施設(学校行事等)のデジタル化
- (3) ICT活用による授業改善の推進、オンラインによる個別学習や学習支援の充実
- (4) 児童生徒の学習、授業準備、感染対策等に関する迅速な情報提供
- (5) ICT活用による学びの場としてのICT活用

いつでも、どこでも、だれとでもつながることのできる学校づくり。

Plan 2 もりやハートウォーミングプラン【令和3年度～】 課題 ①②③④⑤対応【6,616万円】

子どもたちが安心して通える学校づくり(いじめ・不登校ゼロバック)のために

- 100%安心・安全な学校づくり(いじめ・不登校ゼロバック)の推進
- 100%安心・安全な学校づくり(いじめ・不登校ゼロバック)の推進
- 100%安心・安全な学校づくり(いじめ・不登校ゼロバック)の推進

Plan 3 もりやニューノーマルプラン【令和3年度～】 課題 ①②③④⑤対応【2,688万円】

子供たちの新たな健康安全のために

- 子供たちの新たな健康安全のために
- 子供たちの新たな健康安全のために
- 子供たちの新たな健康安全のために

安心で安全な学校づくり。

Plan Plus プランプラス

- 小学校教育科制の推進【15名】 課題③④⑤対応
- ALL 全校配置-授業改善【19名】 課題③④⑤対応
- 守谷型カリキュラム・マネジメントの推進【23名】 課題③④⑤対応
- 中核職員育成と連携による学校教育委員の充実【2名】 課題③④⑤対応
- ICT活用による学びの場としてのICT活用【220名】 タラント・フューチャープラン【196名】 ICT活用による学びの場としてのICT活用【4名】 課題③④⑤対応
- デジタル教材ソフトの導入【課題③④⑤対応】
- 国・県から賞・評価を受けている【課題③④⑤対応】
- ICT活用による学びの場としてのICT活用【課題③④⑤対応】
- 守谷型カリキュラム・マネジメントの推進【課題③④⑤対応】
- 中核職員育成と連携による学校教育委員の充実【課題③④⑤対応】

4

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について

コミュニティ・スクール

学校運営協議会制度を導入した学校

多くの子供たちの暮らしの創造に向けて、学校と地域がパートナーとして連携・協働による取組を進めていくためには、学校と地域住民等が「地域でどのような子供たちを育てるのか」「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有することが重要です。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の力を積極的に生かし、地域と一緒に特色ある学校づくりを進めていくことができます。

コミュニティ・スクールの主な3つの機能
【地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6】

- 校長が作成する学校運営の**基本方針を承認**する
- 学校運営について**、教育委員会又は校長に**意見を述べ**ることができる
- 教職員の任用に関して**、**教育委員会規則に定める事項**について、教育委員会に**意見を述べ**ることができる

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み

学校運営協議会の主な役割
 ・校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
 ・学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる
 ・教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)に関する法改正

学校運営協議会制度に関する法律が改正されました

学校運営協議会が設置された学校では、学校や子供たちの教育に対する保護者・地域住民等の理解が深まり、相互に連携・協働する場面が増えてきました。また、教育課程の充実につながる効果的な地域連携の取組が増えるなど、学校運営の改善にも大きな成果がみられます。

しかし、複雑化・多様化している学校現場の課題等を解決し、子供たちの教育環境を充実させるためには、**地域住民等の協力を受けて、社会総がかりで教育の充実を図っていくことが重要**です。そのためには、全ての公立学校において学校運営協議会の設置を進める必要があることから、政府において継続的に議論が行われてきました。

教育再生実行会議 第6次会議(平成27年3月4日)

コミュニティ・スクールに関する部分の議案

- 未導入地域における取組の拡充
- 地域と相互に連携・協働した活動を展開するための基本的な方針
- コミュニティ・スクールの設置の促進について議論を進める

中央教育審議会答申(平成27年12月21日)

コミュニティ・スクールに関する部分の議案

- 全ての公立学校において、地域住民や保護者等が学校運営に参画する仕組みとして、**学校運営協議会制度を導入した学校(コミュニティ・スクール)を推進**すべし
- 各教育委員会が、コミュニティ・スクールの推進を図っていくよう、現在在任設置となっている**学校運営協議会の制度的位置付けの整理**も含めた方針を練っていくことが必要

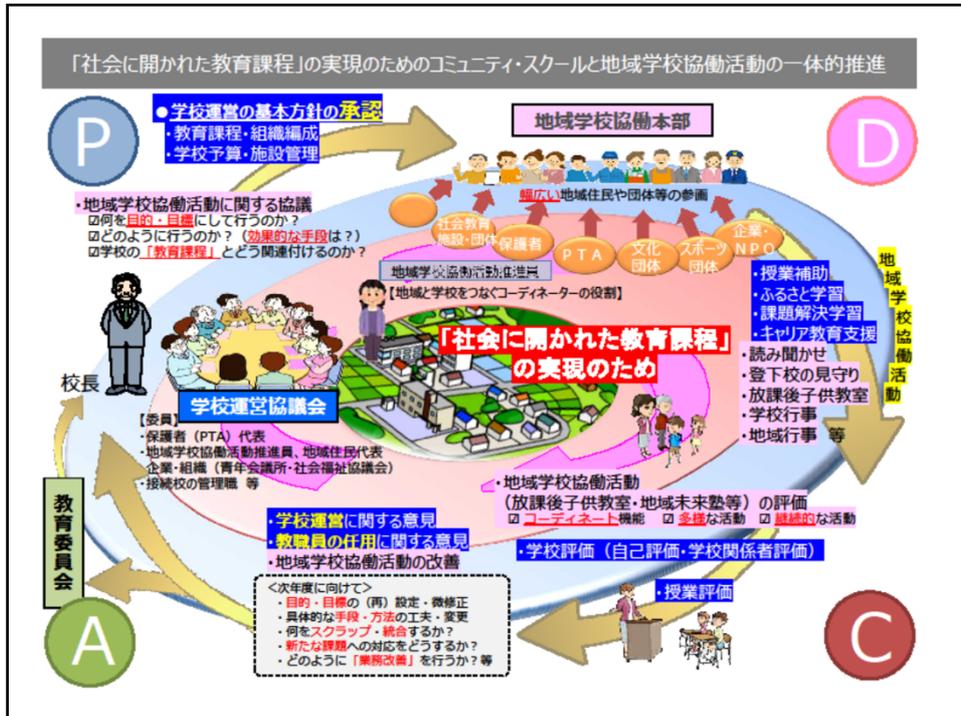
こうした議論を踏まえ、学校運営協議会の設置をさらに促進していくために、平成29年3月、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正されました。

●主な改正ポイント

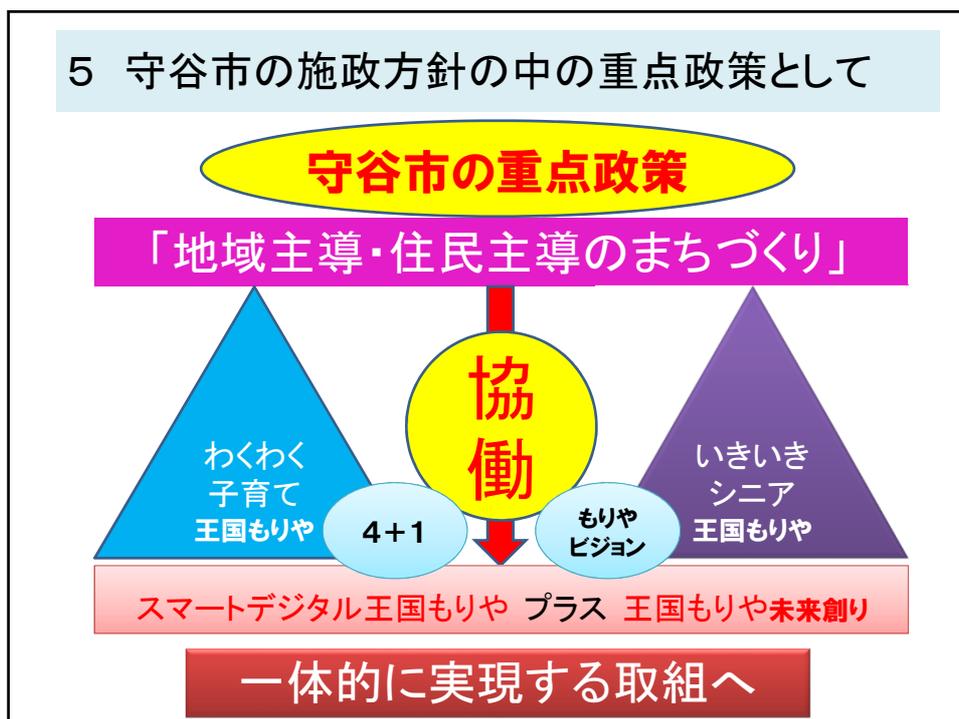
- 学校運営協議会の設置が**努力義務化**
- 学校運営への必要な支援についても**協議**すること
- 協議会の委員に、学校運営に資する活動を行う者を追加
- 教職員の任用に関する意見の範囲について、**教育委員会規則**で定めること
- 複数校で一つの協議会を設置することが可能
- 協議結果に関する情報を地域住民に積極的に提供することを**努力義務化**

●法改正に関する条文等は、文部科学省HPをご覧ください。

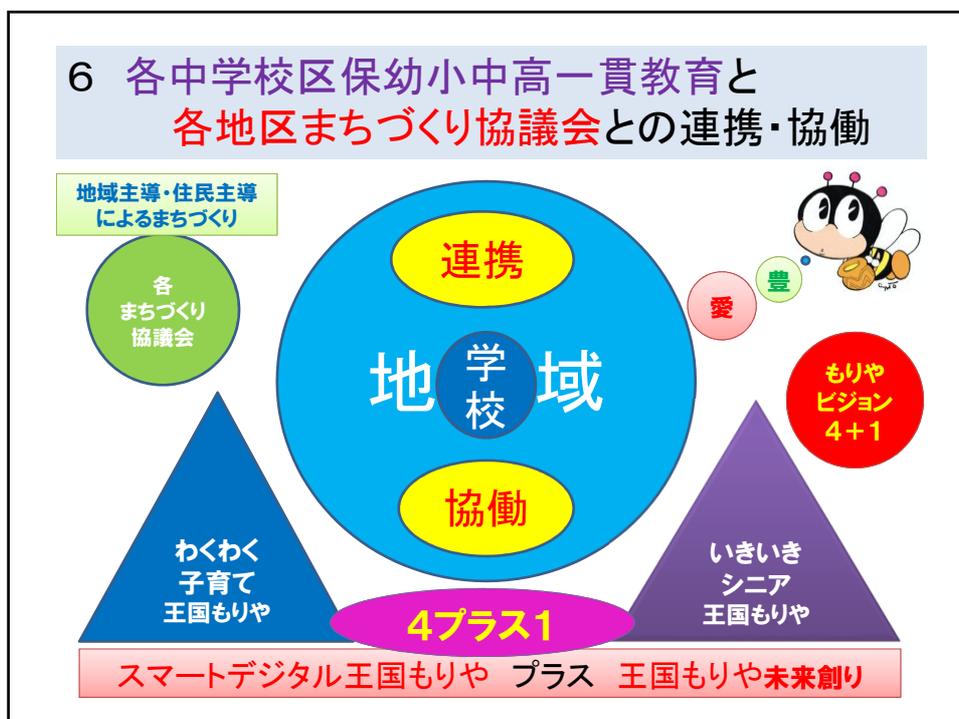
第193回文部科学省成立法律 http://www.mext.go.jp/b_menu/hoouan/hoouan/sakubun/1303041.htm



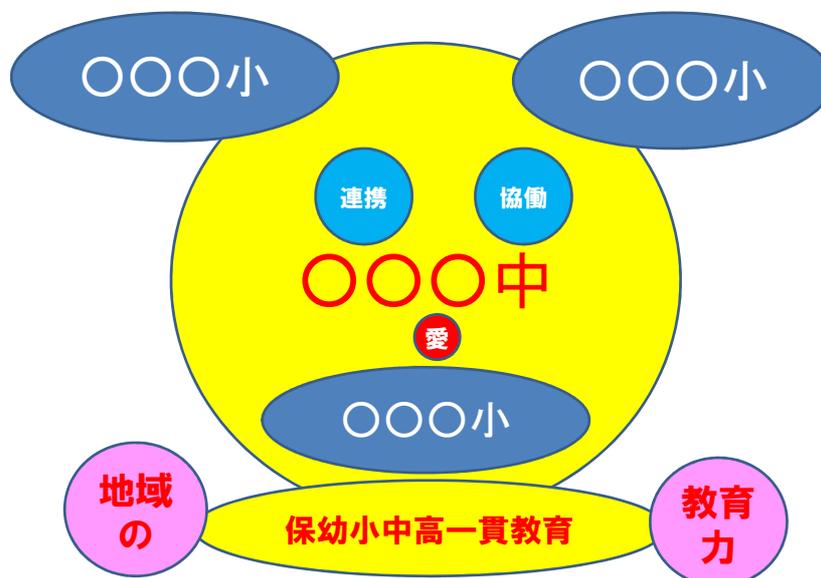
5 守谷市の施政方針の中の重点政策として



6 各中学校区保幼小中高一貫教育と
各地区まちづくり協議会との連携・協働



7 (仮称)地域人材ボランティアバンク分野別調査



8 (仮称)地域人材ボランティアバンクのイメージ



9 (仮称)地域人材ボランティアバンクの設立

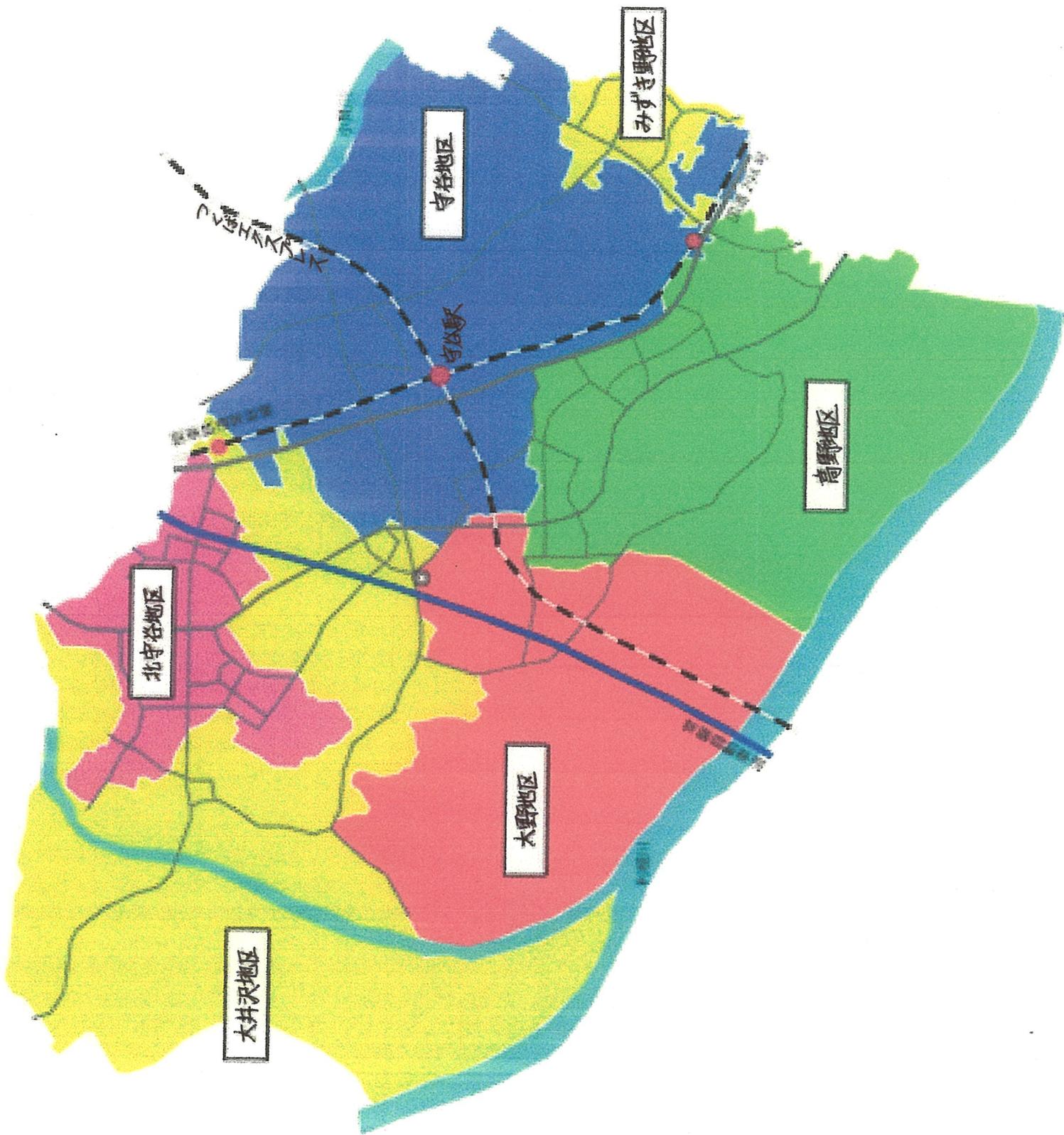
ご理解ご協力どうぞよろしくお願ひいたします

地域教育力

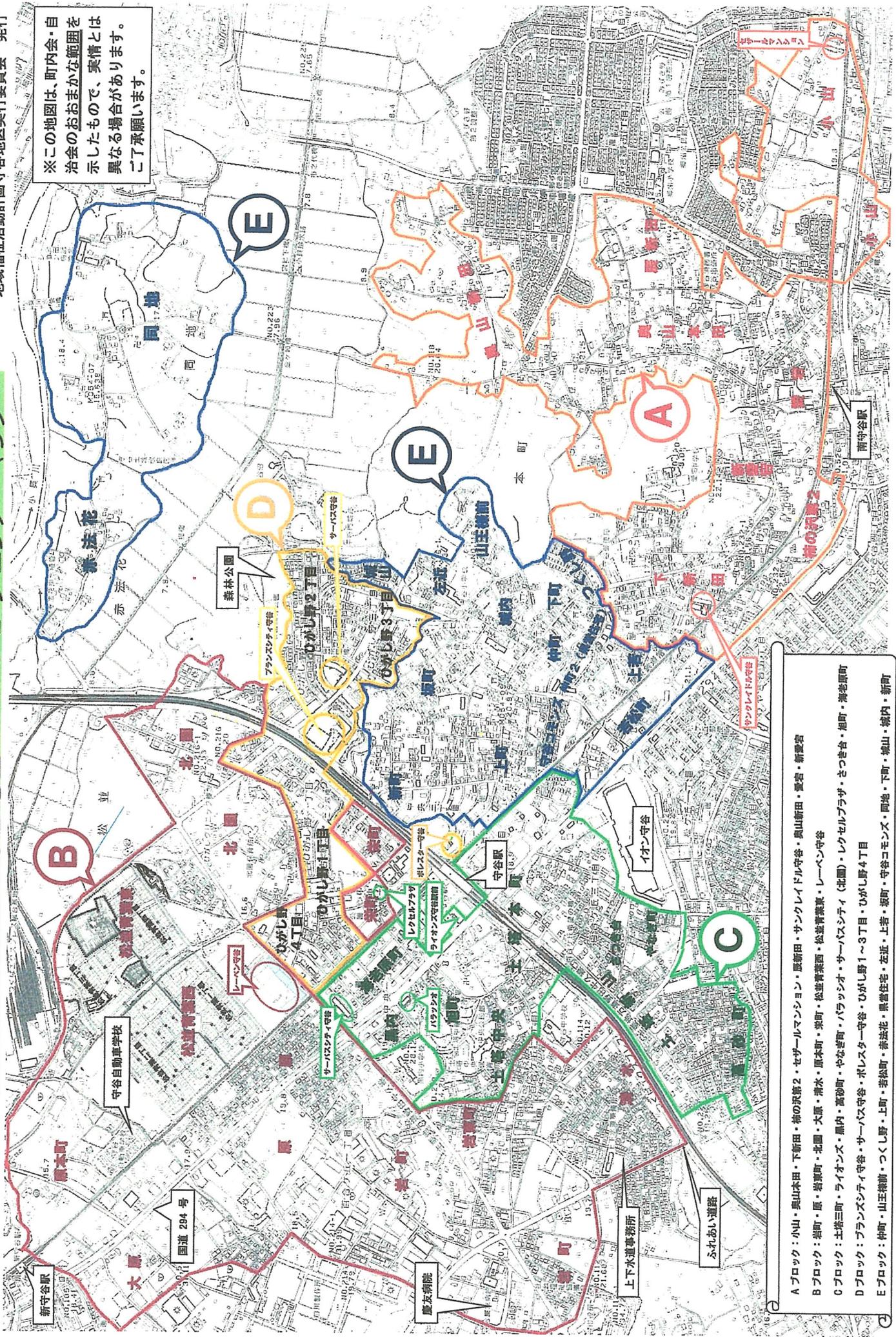
ご清聴 ありがとうございます

まちづくり協議会 範囲





※この地図は、町内会・自治会のおおまかな範囲を示したもので、実情とは異なる場合があります。ご了承ください。



- A ブロック：小山・奥山本田・下新田・神の沢第2・セザールマンション・阪新田・サンクレイドル守谷・奥山新田・豊吉・新聖吉
- B ブロック：岩町・原・岩瀬町・北園・大原・清水・清水・原本町・栄町・松並青葉園・松並青葉園・レーベン守谷
- C ブロック：土橋三町・ライオンズ・原内・高砂町・やなぎ町・バラッショ・サーバスシティ（北園）・レクセルプラザ・さつき台・畑町・深光原町
- D ブロック：プランシシティ守谷・サーバス守谷・ボレストー守谷・ひがし野1～3丁目・ひがし野4丁目
- E ブロック：仲町・山王橋前・赤法花・黒巻住宅・志丘・上野・坂町・守谷 commons・同地・下町・練山・城内・新町

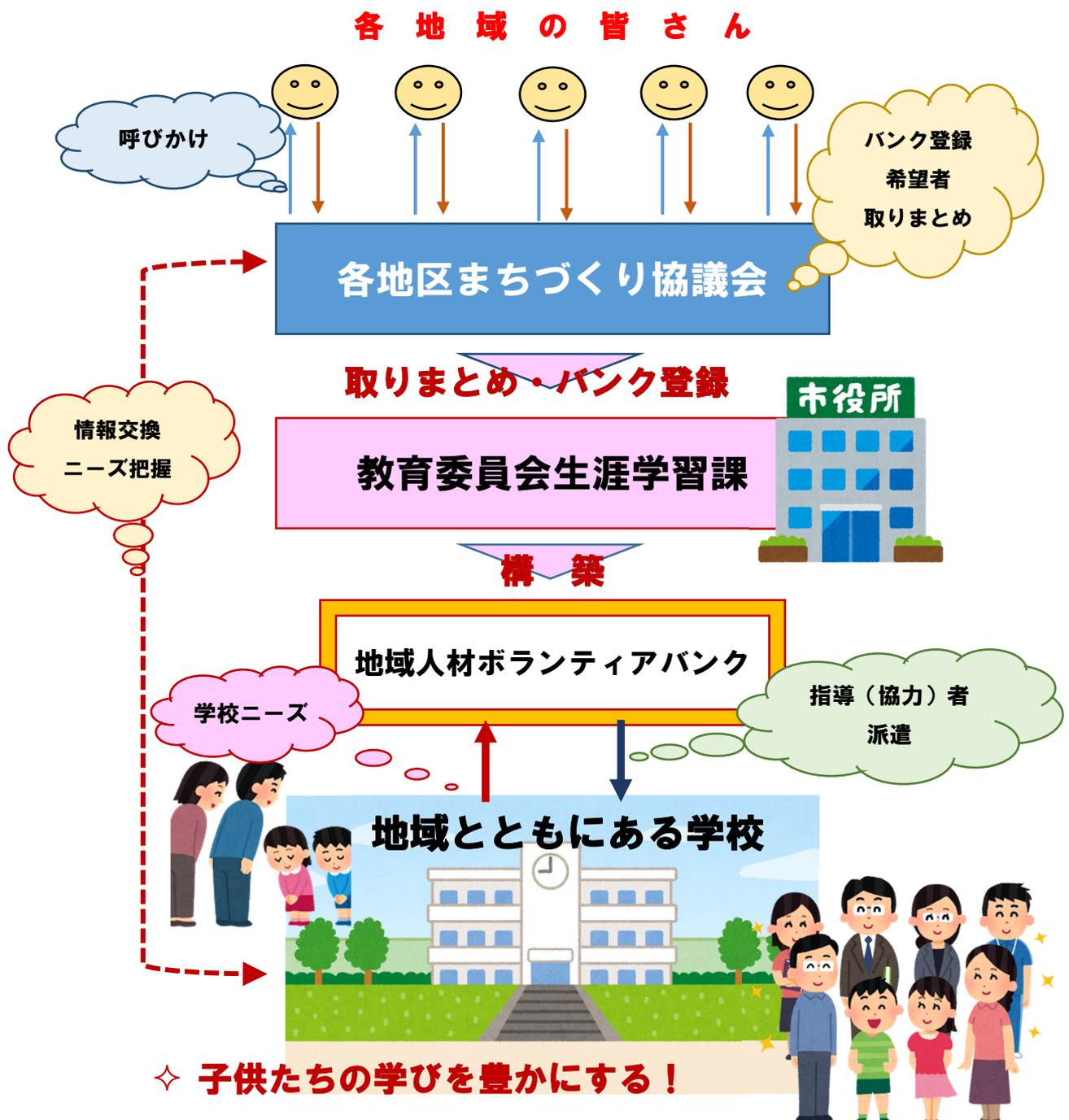
(仮称) 地域人材ボランティアバンクの設立

守谷市教育委員会 生涯学習課

各地区まちづくり協議会の協力・連携を通じて、各小・中学校における地域のボランティア指導（協力）者を募り、(仮称)地域人材ボランティアバンクを設立するものです。

指導（協力）いただく分野は、幅広く様々な分野になると考えています。

(仮称) 地域人材ボランティアバンクのイメージ



◇ 子供たちの学びを豊かにする！

◇ 地域の将来の担い手となる人材を育成する！

(仮称) 地域人材ボランティアバンク登録分野別分類一覧

守谷市教育委員会 生涯学習課

| 分類 | 学習指導・支援・協力等の内容 |
|-----------------|------------------------------------|
| 1 国語 | 書道・ペン習字・硬筆・短歌・俳句・文学・読み聞かせ等 |
| 2 算数・数学 | 九九学習支援員等 |
| 3 社会 | 平和教育・経済・経営・年金・税務・法律・文化財・郷土史等 |
| 4 理科 | 自然観察・バードウォッチング・おもしろ理科博士等 |
| 5 英語 | 英会話等 |
| 6 道徳 | ゲストティーチャー:道徳的価値に迫る説話やメッセージ等 |
| 7 家庭 | 幼児教育・裁縫・食育・着付け・日本西洋中華郷土料理・パンお菓子作り等 |
| 8 技術 | パソコン・無線・電気・木工製作・栽培・プログラミング等 |
| 9 音楽 | ピアノ・箏・合唱・器楽等 |
| 10 図工・美術 | 絵画・木彫り・木工制作・絵手紙・わら竹細工・デザイン・陶芸等 |
| 11 保健体育 | スポーツ・ダンス・健康管理全般・性に関する教育等 |
| 12 学級活動 | ゲストティーチャー:話し合い活動でのアドバイザー等 |
| 13 生活・総合的な学習の時間 | 福祉・手話・点字・手品・郷土芸能・伝承あそび等 |
| 14 野球 | 指導・練習試合審判等 |
| 15 サッカー | 指導・練習試合審判等 |
| 16 ハンドボール | 指導・練習試合審判等 |
| 17 ソフトテニス | 指導・練習試合審判等 |
| 18 バスケットボール | 指導・練習試合審判等 |
| 19 バレーボール | 指導・練習試合審判等 |
| 20 卓球 | 指導・練習試合審判等 |
| 21 剣道 | 指導・練習試合審判等 |
| 22 柔道 | 指導・練習試合審判等 |
| 23 バドミントン | 指導・練習試合審判等 |
| 24 美術 | 絵画・デザイン・イラストレタリング・ペーパークラフト等 |
| 25 文芸 | 絵本作り・イラストレタリング等 |
| 26 科学研究 | 科学研究指導・環境学習指導・実験結果データ処理指導等 |
| 27 吹奏楽 | 吹奏楽指導・金管指導・木管指導・太鼓指導・楽器演奏等 |
| 28 学校行事 | マラソン大会観察員・運動会・秋祭り活動支援等 |
| 29 環境整備 | 除草作業・樹木剪定・修理・整理整頓等 |
| 30 ICT教育 | ICT教育機器活用支援・サポート等 |
| 31 その他 | ※30までの分野以外の学校への協力内容 |

※中学校は、部活動(14~27)へのボランティア協力を含む。